

報道関係各位

株式会社カーブスジャパン

6月2日(木)「東北大学記者発表会 及び 石巻市内店舗視察」のご案内

「スマート・エイジング・スクエア事業の開始」に関する記者発表会 (女性だけの30分フィットネス「カーブス」との産学連携共同研究も実施) —センター長 川島 隆太教授による概要説明・センター案内—

「生活不活発病の予防に向けた石巻市内カーブス店舗活動視察」 石巻市内2店舗視察と再開店舗でのメンバー様インタビュー

この度の東日本大震災により被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センター(住所:宮城県仙台市/センター長:川島隆太)は、産学連携研究を通して、高齢者の心身の健康を維持・向上し、生活の質を向上することを可能とする具体的な個人の健康長寿システムを創生し、それを社会に手関することを目的とした「スマート・エイジング・スクエア」事業を開始することになりました。その第一弾として、女性だけの30分フィットネスチェーン「カーブス」を全国で展開する株式会社カーブスジャパン(住所:東京都中央区/代表:増本岳)は、1,000店舗達成となる6月14日(火)に、サーキットトレーニングが認知機能に与える実証研究を産学連携共同研究として行うために、センター内へ店舗オープンいたします。

つきましては、「スマート・エイジング・スクエア」事業の概要及び、「カーブス」との共同研究内容についてご説明したく、下記の通り記者発表会を執り行うことになりました。また、同日、宮城県石巻市内のカーブス2店舗をご案内し、震災による生活不活発病の予防対策に向けたカーブスの活動を通じて、東北復興を感じていただくことを企画しております。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。尚、ご出欠に関しましては、添付の出欠確認書にご記入いただき、5月30日(月)までにご返信くださいますようお願い申し上げます。いずれかのみのご参加も可能です。

敬具

記

- ①「東北大学加齢研スマート・エイジング国際共同研究センター棟(SAIRC)始動」に関する記者発表会
- ②生活不活発病の予防に向けた石巻市内カーブス店舗活動視察

日時： 2011年6月2日(木) ①11:00～12:00 (受付開始10:30～) ②13:00～ (18:30仙台駅解散予定)

会場： スマート・エイジング国際共同研究センター棟 1F「国際会議ホール」

(宮城県仙台市青葉区星陵町4-1 東北大学加齢医学研究所) TEL: 022-717-8445

①記者発表プログラム

11:00 ～ご挨拶及び創設の目的、概要についてご説明

スマート・エイジング国際共同研究センター センター長 川島 隆太

－施設見学 センター長 川島より 1F～6F のハイライトのご案内いたします。

－質疑応答

②生活不活発病の予防に向けた石巻市内カーブス店舗活動視察 *時間は目安です。

13:00 ～東北大学出発 *軽いお弁当を準備いたします。車内でお召し上がりください。

14:30 ～「カーブス石巻蛇田」視察 *4月11日営業を再開済

　　インストラクター・メンバー様へのインタビューもご案内いたします。

～「カーブス石巻大街道」視察 (オーナー案内)

　　津波による震災被害を受けた店舗です。6月中旬再開に向けて準備をしております。

～石巻市街地案内 (車窓中心)

　　被害の大きかった「カーブス石巻大街道」メンバー様商圏エリア等視察

18:30 (予定) 仙台駅解散

*道路状況等により時間が前後する可能性がございます。予めご了承ください。

※東京⇒仙台の交通ご手配も致します。ご相談ください。

以上

■東北大学加齢研スマート・エイジング・スクエアについて

スマート・エイジング・スクエアは、产学連携研究を通して、高齢者的心身の健康を維持・向上し、生活の質を向上することを可能とする具体的な個人の健康長寿システムを創生し、それを社会に提案することを目的としています。研究開発部門の基礎研究成果を、企画開発部門のリエゾン活動により産業界とのマッチングを行い、产学連携共同研究を発足させて、個人のスマート・エイジングに与える効果の実証研究を行います。実証研究は、本スクエア内に設置した产学連携スペースに地域住民が直接参加する形を取ります。これにより、地域住民に日々の生活で心身の健康を維持・向上する機会を提供しつつ、地域住民と直結した研究開発環境を構築します。本スクエアでは、地域住民、民間企業、大学が一体となり、研究開発から商品化まで一貫して取り組める超高齢社会の新たな产学連携のスタイルの確立を目指しています。

個人の生活の質を高齢期に入っても維持・向上させるためには、「認知的な刺激」、「運動」、「栄養」、「社会との関わり」の四つの要素が重要になります。本スクエアでは、実証研究活動に協力していただく地域住民に「社会との関わり」の機会を提供するだけではなく、产学連携研究による研究開発の主眼を「認知的な刺激」、「運動」、「栄養」のいずれかに絞り込むことで、合目的かつ効率的な実証研究を推進します。

＜用語解説＞スマート・エイジング

本センターが提唱する「スマート・エイジング」は、少子化・超高齢社会における新しい概念です。いわゆる「アンチエイジング」のように、高齢期を認めたくない・遭遇したくないという意味が込められたネガティブな概念とは全く異なります。我々の提案は、高齢期を「知的に成熟する人生の発展期」として積極的に受容しようというもので、高齢社会に対する考え方のパラダイムシフトであると考えています。本センターが今後発信する研究成果は、加齢と共に人生が豊かになっていくことを実感し（高齢者の活力）、その結果、老若男女を問わず世代を超えて誰もが知的好奇心によって繋がり、お互いを支えあう「知縁社会」の実現を実現（世代間の知恵の共有）に繋がると確信しています。

■女性だけの 30 分フィットネス「カーブスについて」—女性のための、女性によるクラブ—

カーブスは女性のための、女性によるフィットネス。2005年7月に日本1号店がオープンし、住宅街や商店街、スーパーマーケットへの併設等、生活する場の“となり”で、小型（標準タイプで40坪前後）のクラブを展開しています。メンバー様はもちろんインストラクターも女性だけと、女性にとって居心地が悪くなる要素を徹底的に排除し、心地よい環境のなかで運動を提供しています。また、カーブスのワークアウトプログラム「30分間サーキットトレーニング」には、テキサス・ベーラー大学のエクササイズ・スポーツ研究所による、予防医学の観点からなる最新の研究成果が活かされています。日本においても、独立行政法人国立健康・栄養研究所と共同研究し、1日30分、週3回のカーブスでの運動が、日本女性にとってもダイエットと健康改善などメタボ解消、さらには転倒防止に必要な脚力のパワーアップによる介護予防対策に効果的なことが証明されています。2011年6月14日に1,000店舗を超える予定で、40歳以上が88%を占める全国の会員数は約36万人となっております。



【株式会社カーブスジャパン 会社概要】

設立：2005年2月28日

代表者：増本岳

資本金：1億1600万円

従業員数：127名（2010年12月末日現在）

事業概要：女性だけの30分フィットネス「Curves」のフランチャイズ展開

所在地：東京都中央区日本橋堀留町1-3-19 チョーキンビル5階

親会社：株式会社コシダカホールディングス（JASDAQ 証券コード2157）

【お問い合わせ先】 株式会社カーブスジャパン 広報室 担当：小泉、片桐

TEL:03-5643-2981、FAX:03-3249-8733、E-mail:pr@curves.co.jp

ご出欠 FAX 返信用紙

①「スマート・エイジング・スクエア事業の開始」に関する記者発表会
日時: 2011年6月2日(木)11:00~12:30 (受付開始 10:30)

②生活不活発病の予防に向けた石巻市内カーブス店舗活動視察
日時: 2011年6月2日(木)13:00 東北大学発 ~ 18:30 仙台駅着予定

①②共ご出席 ①のみご出席 ②のみご出席
いずれもご欠席

貴社名

貴媒体名

部署名・役職

ご芳名

ご同行者名

計名

電話番号

携帯番号

FAX番号

E-mail アドレス

ご協力ありがとうございました。

※ご出席のご連絡をいただきました皆さまへは、東北大学までの交通ご手配と現地地図のご案内をいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社カーブスジャパン 広報室 担当:小泉、片桐

TEL:03-5643-2981、FAX:03-3249-8733、E-mail:pr@curves.co.jp